

まちのキケンが「もののけ」に変身！？
親子 20 名がゲーム感覚で地域の防災リスクを学ぶ体験学習イベント
「もののけコレクト」を東京都多摩市で開催

2026 年 6 月 13 日（土）、多摩市関戸の関戸公民館とその周辺で、スマートフォンのアプリを使って防災について楽しく学ぶ、親子向け体験学習イベント「もののけコレクト」が初開催されました。

本イベントは、東京都多摩市と、同市と連携協定を結ぶイーレジリエンス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：坂田暁俊、以下イーレジリエンス）の共催で、「レジリエントライフプロジェクト」の一環として開催されました。プロジェクトの企画運営として株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下 博報堂）、体験アプリの提供元としてジオテクノロジーズ株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：八剣洋一郎、以下ジオテクノロジーズ）が企画・協力しています。

1. もののけコレクトとは

「もののけコレクト」は、子どもたちが保護者や地域のサポーターと一緒に街を歩きながら、災害時に注意すべき場所を発見する体験学習イベントです。ジオテクノロジーズが運営する、“撮った写真に価値がつく”ポイ活アプリ「ジオクエ」を活用し、楽しく防災について学びます。

水害や土砂災害などのリスクがある街の「キケン」は、日本古来の「もののけ」をモデルにしたキャラクターとして、AR で出現します。これは、古くから河童などの「もののけ」が子どもたちに自然の危険性を教える役割を果たしていたことに由来しています。また、河川付近の水門など、水害を防ぐための設備は「レジリエンススポット」として、守り神キャラクターが出現します。アプリで地図上に示される水害・土砂災害のリスクのある場所やレジリエンススポットに行き、出現したキャラクターをアプリで写真に撮って投稿し、キャラクターを集めるというゲーム感覚の体験を通じて、子どもたちは主体的にキケンを学び、親子で地域の安全性について考えるきっかけを創出します。

2. 「教える防災」から「親子で楽しく発見する防災」へ

初開催となった今回のイベントは、移動時の安全性を考慮して定員を 20 名に限定して実施し、地域に住む親子 20 名が参加しました。関戸公民館を出発し、大栗川方面へと歩きながら危険な場所を見つけていきます。

途中、道路わきに出現したのは、「デンギツネ」という漏電リスクの「もののけ」。子どもたちは、漏電につながりそうなものを撮影し、なぜ危険なのかを親子で一緒に考えながら、コメント付きでアプリに投稿していきます。災害などによって切れた電線が着水してしまうと感電するリスクがあることを学びました。



デンギツネ
(漏電リスク)



一方、水害の危険から守ってくれるもののけとして「スイモンシン」というキャラクターも出現。局所的な集中豪雨が発生した場合に、川の水の量を調整する機能を持つ「東寺方雨水排水ポンプ場」があり、参加者は特別に施設をのぞかせてもらいました。



スイモンシン
(水害対策の水門)



アメノコ
(浸水リスク レベル1)



アメアラレ
(浸水リスク レベル2)



アナボウズ
(土砂リスク レベル1)



ヤマツナミ
(土砂リスク レベル2)



アメジゴク
(浸水リスク レベル3)



アメワザイ
(浸水リスク レベル4)



スイモンシン
(水害対策の水門)



デンギツネ
(漏電リスク)



ミチシルベ
(避難先)

合計で

に集約さ

れ、イベントの最後には多摩市関戸エリアのオリジナル『防災安全マップ』が完成しました。

身近に潜む危険な場所だけでなく、危険から身を守る対策についても親子で楽しく学んだ今回の体験学習イベント。レジリエントライフプロジェクトでは今後、本取り組みを通じて、防災対策に十分な時間を割くことが難しい親子層、地域の安全に関心を寄せる市民、そして「安全なまちづくり」を目指す自治体や企業に、レジリエントライフプロジェクトとして、新たなソリューションを提供します。

3. 参加者の声

「子どもと一緒に、普段生活している身近な場所のキケンを目で見て確認できた。」

「もののけのキャラクターがかっこよく、親も子どもも遊びと学びを両立させながら楽しく歩くことができた。」

「街歩きをしながら、普段目を向けない災害リスクの場所などを知る良い機会になった。」

4. レジリエントライフプロジェクトとは

自然災害のリスクをはじめ、社会に起因するリスク、そして個人に起因するリスクに至るまで、あらゆるリスクが生み出す困難を乗り越えるための「レジリエンス」を高め、より豊かな生活の実現を目指す、新しいライフスタイルがレジリエントライフです。生活者個人を起点にあらゆる困難を乗り越えるためのレジリエンスを日常生活から高めることは、生活者の意識向上による自助と、生活者の集合体である自治体や企業における共助の力を高め、結果として自然災害に対する対応力の底上げにもつながると考えています。

<https://resilient-life-project.i-resilience.co.jp/>

5. “撮った写真に価値がつく”Photo to Earn アプリ「GeoQuest（ジオクエ）」とは

ジオテクノロジーズが運営する完全無料のアプリ「ジオクエ」では街中にあるビルやコインパーキングなど様々な施設が「クエスト」として出題され、ユーザーは「クエスト」の場所に行き、現地の写真を撮影して投稿することでマイルがもらえます。また、企業や自治体の調査ニーズに対して、「ジオクエ」のユーザーを通じて現地の画像、位置情報を収集するサービス「ジオクエ Connect」も展開しています。今回の「もののけコレクト」は「ジオクエ」および「ジオクエ Connect」の仕組みを活用して実施しました。

【ジオクエ WEB サイト】：<https://www.geo-quest.jp/>

【ジオクエ Connect WEB サイト】：<https://www.geo-quest.jp/connect>

6. 運営事務局（レジリエントライフプロジェクトに関するお問い合わせ先）

イーレジリエンス株式会社 レジリエントライフプロジェクト事務局

メールアドレス：rlp@i-resilience.co.jp

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 白川・戸田 koho.mail@hakuhodo.co.jp